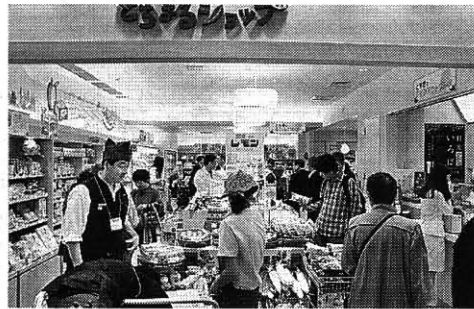


栃木県が東京スカイツリー(東京・墨田)の商業施設に設けたアンテナ店「とちまるショップ」の滑り出しが好調だ。イチゴ関連や郷土料理などの評判が良く、7月末までに年間目標の3分の1の売り上げを達成した。とはいえ、開業特需に終わらせず、観光客誘致まで効果を広げるには商品力の一段の強化とリピーター獲得が欠かせない。

栃木アンテナ店、まずは好調

スカイツリーさまさま



栃木ならではの商品が好評だ(とちまるショップ)

常連客の獲得課題 郷土色演出など 一段の工夫必要

目標とする年間売り上げの2億円を上回るペースが続く。なかでも人気が高いのが、納入業者からは「行政特有の横並び意識の典型」とも評される「アンテナ店に詳しく、専門サイト「風土47」を運営する浜田登氏は成功しているアンテナ店に共通する期待し、とちまるショップで連日のように観光(宇都宮支局 安倍大賢)

とめ」を使っ型で、店のコンセプトがターを増やしていることを開いている。効果はまたジェラート明確でない」と厳しい声や郷土料理もある。「しもつか ファーマーズ・フォレ」もあがる。商業施設内には多様な店舗がそろっただけに、栃木らしさを求める客が多い。一方で郷土色の演出とい

支局 水戸 0229-2221-3283
つくば 0229-8522-03445
宇都宮 0228-6222-117445
前橋 027-2232-31145